



ソフトテニス全沖縄高校選手権大会

優勝・ベスト4に3ペアの快挙

ソフトテニスの第29回全沖縄高校選手権大会が13日行われ、女子ソフトテニス部3年の座波桜花(3年)・平良彩妃(3年)ペアが見事優勝しました。この大会には本校から4ペア出場し、すべてベスト8に入り、うち3ペアがベスト4に進出するという快挙を成し遂げました。

準決勝に進出したのは福地美楽惟(2年)・濱川詩友(2年)ペア、新垣連美(1年)・前原悠(1年)ペア、ベスト8には宮城はち(2年)・金城小和(1年)ペアが進出。座波・平良は高校生最後の大会で有終の美を飾り、後輩にタスキを渡しました。この快挙にも1、2年生は満足せず、今年長崎県で行われるインターハイでの活躍に向けて今後も練習に励んでいくと力強く決意していました。

同大会に男子も出場し惜しくも決勝トーナメント進出は成らなかったものの着実に力をつけてきており、次回は期待大です。



1月13日(土)・14日(日)の2日間、芸術・スポーツ・食の祭典「ちゃんぷるーフェスティバル」が名護市市民会館を主会場に行われました。この祭典に、本校の吹奏楽部がスペシャルコラボでの演奏や、男女サッカー部がボランティアで参加した他、附属桜中からミュージカルに出演。さらに、名護高校生は名護ジュニアコーラスで参加するなど大活躍でした。13日に市民会館大ホールで昼夜の2回行われたスペシャルステージにおいて、吹奏楽部が宮沢和史さんとコラボし、歌声に合わせて2曲を演奏。



見事な「鳥唄」と「風になりたい」でした。吹奏楽部は相変わらずの本番の強さで、会場が一つになり大盛り上がりを見せ、演奏後には宮沢さんから「名護高校吹奏楽部はすごい。しっかりとポイントをとって演奏している」等のお褒めの言葉もいただきました。

2日目は、名護あけみおドームを中心に障がい者サッカー体験会&ちゃんぷるーサッカーが行われ、オープニングパフォーマンスで、ダンス部12名がダンスを披露し会場からは割れんばかりの拍手喝采で、華を添えました。また、元日本代表北澤豪さんのサッカー体験会に男女サッカー部がボランティアとして参加。会場設営、駐車場係、障がい者の介助等多岐にわたる大活躍。貴重な体験にもなりました。

終了後運営スタッフからは、名護高校の生徒の活躍と協力にねぎらいの言葉とともに、「名護高校生はあらゆる面で頑張っているし、優しい生徒ばかりで素晴らしい」というコメントを多数頂戴しました。このように名護高生が活躍している姿に感動です。ありがとうございます。

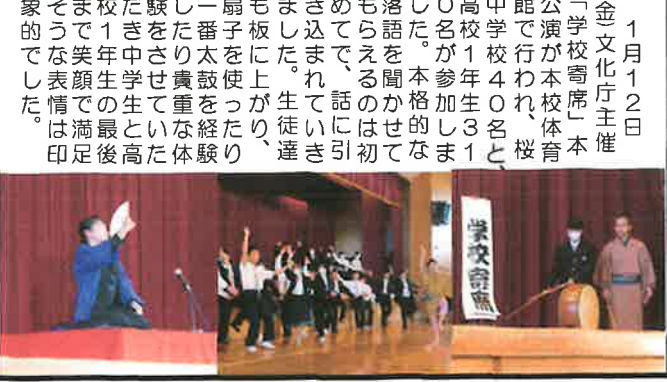


カナダ研修報告会



フロントティア科2年生が1月のカナダ研修を振り返り、報告会を行いました。後輩達が参加した報告会ではカナダ研修での体験を英語でプレゼンテーションする等、2ヶ月経った今もカナダでの経験は鮮明で、聞いていた後輩達の質問に答えていた笑顔で答え、経験が生かされている雰囲気を感じさせてくれました。

高校1年生・附属桜中 寄席



1月12日(金)文化庁主催「学校寄席」本公演が本校体育館で行われ、桜中学校40名と高校1年生310名が参加しました。本格的な落語を聞かせてもらって、話に引き込まれていき、生徒達も板に上がり、扇子を使ったり、一番太鼓を経験したり貴重な体験をさせていた。また、中学生と高校生最後の笑顔を満ちた印象的な表情で足跡を残した。